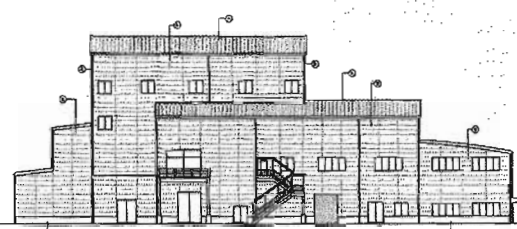


南九州バ鶏糞ボイラー発電施設(まつ)新築

三和・島田JVで施工

きょう起工式

鶏肉及び鶏肉加工(橋野雄社長)の関連会社である(南九州バ)オマス(田中静雄社長)は、鶏糞ボイラー発電施設の新築を計画。このほど、12JVによる指名競争入札を実施した結果、三和建設・白川田工務店JVに決定した。きょう23日に起工式を行い、18年3月末の完成を目指す。



鶏糞ボイラー発電施設西側立面図

設計は衛藤中山設計(衛藤中山設計)が担当。総事業費は建設費約20億円。計画によると、建設予定地は薩摩郡さつま町山崎上田334-1外11筆(22日市町村合併により町名変更)。鶏糞ボイラー発電施設は、敷地面積5万5799・29㎡に、S造2階建て2522・86平方メートルの鶏糞ボイラー発電施設を新築する。

同施設では、(株)アキシムの契約農家等から集められた鶏糞を燃焼させ、電力を生産する。1日の発電量は約2000kWhを見込める。また、余った電力は九州電力に売電する予定。なお、施設近隣には住宅街があることから、ボイラー施設を建屋で囲み、臭気、熱、音などを外部にもらさないように工夫した環境配慮型の施設となっている。

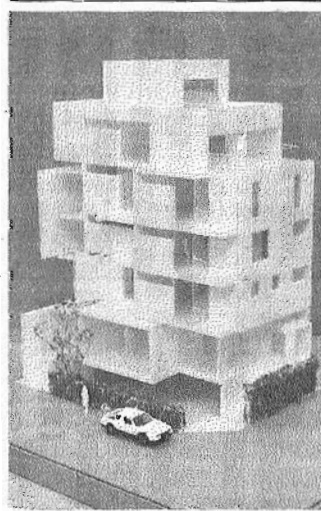
共同住宅の完成予想模型

レイズダンシャルフロック城山町(鹿児島市)新築

設備一括で飛島建設

ルフトビル

ルフトビル(株)(井後吉秋取締役)は、店舗付き共同住宅「レイズダンシャルフロック城山町」の新築を計画、参加資格不問で見積もりを徴集した結果、施工業者を設備込みの一括で飛島建設に決めた。4月11日に安全祈願祭を行い、工事着手し10月下旬の完成を目指す。設計は中原祐二建築設計事務所が担当。



共同住宅の完成予想模型

ちっばなしを基調にガラスを効果的に使用。地下1階と地上1階を二つのタイプとしている。までは賃貸住宅5戸が入る。賃貸住宅はメゾネットタイプとしている。

立体駐車場(鹿児島市)建設

今週末にも業者選定

モーメント

(株)モーメントは、鹿児島市山之口町に貸事務所や店舗を備えた立体駐車場(仮称・MAINPARK Tower)の建設を計画、25日頃までにも施工業者を決め、4月頃から本工事に着手する。完成後は、鹿児島市山之口町12-15、12-49、12-55の敷地約384・02平方メートルに8階建て2956・42平方メートルの建物を建設する。

AR K24 second Tower)の建設を計画、25日頃までにも施工業者を決め、4月頃から本工事に着手する。完成後は、鹿児島市山之口町12-15、12-49、12-55の敷地約384・02平方メートルに8階建て2956・42平方メートルの建物を建設する。

産業廃棄物処理施設(鹿児島市)建設

S造1F

352・42㎡

花岡建設

(株)花岡建設(古里盛吉社長)は、鹿児島市小薄町に産業廃棄物処理施設(木くずの破砕施設)の建設を計画。同社施工で早ければ4月初め頃にも工事に着手、事業が順調に進めば5月中旬には完成する見込みで、県の使用前検査など各種手続きが終わり次第、早ければ7月初め頃には施設の供用を開始するもようだ。設計は

「三度目の正直」と「二度あることは三度ある」という似たような言葉ではあるが、その違いについて辞書を調べてみた。

前者は、「一、二回目はほんものではなく、三回目はほんものではないものである。多く勝負事や占いや二重続けて不首尾に終わったときなど、「今度こそ」と意気込む気持ちで言うときに使われる。一方、後者は、二度あったことは、必ずもう一度おこる。物事が繰り返されること

富迫 輝男



木 蔭

の例えというふうな説明がそれぞれなされて

「三度」の違い

実は、「ものづくり」の世界でも技能五輪なる大会がある。ここでも技能五輪のことを紹介する余裕がなくて残念

だが、A君は過去に二回連続して全国大会に出場したが、その二回とも残念ながら入賞できなかったという実績の

だが、昨年の技能五輪全国大会で本県代表の一人の青年技能士(A君)として、がまさに、この「三度目の正直」を地でいくような活躍をしてくれた。

A君は、昨年の技能五輪全国大会で見事敢闘賞に輝いたのである。

ここで、冒頭の「三度目の正直」と「二度あることは三度ある」という消極的な表現は、過去の二回失敗したから三度目も失敗するのではないかという消極的な気持ちに陥っていることとなく、逆にA君は(県職業能力開発協会専務理事兼事務局長)

宮崎山形屋新館(宮崎市)建設

SRC造 設計・施工は大成建設

5F8400㎡

宮崎山形屋(佐多芳大社長、宮崎市)はこのほど、売り場面積拡大に伴う新館建設計画を発表した。建設規模はSRC造5階建(一部4階)地下1階延べ8400平方メートル。事業が順調に進めば7月にも工事着手し、18年秋の完成を目指す。本館リニューアル等も含めた投資金額は25億円。設計・施工は大成建設が担当。

建設地は宮崎市橋通東3-14-12。本館東側約2100平方メートルの敷地に新館を建設する計画で、地階と3、4階部分を本館フロアと連結するなど売り場の一体化を図る。完成後は本館リニューアルにも着手する予定で、

全館グランドオープンには、現在の約1・5倍となる約2万5300平方メートル。同社では、6月の大規模小売店舗立地法に基づき、7月をめどに工事に着手する。

同市郊外には5月、大型複合商業施設「イオン宮崎ショッピングセンター」がオープン予定。佐多社長は「空洞化が進む中心市街地の核店舗として、街の活性化につなげていきたい」としている。



建物の完成イメージ図(左側が新館部分)

(有)マテリアル九州(郡山謙二社長、指宿郡額田町)は、国交省新技術情報システム登録・無公害防汚処理木材「エコ木材」を好評で販売中。

無公害防汚処理木材「エコ木材」

マテリアル九州

同木材は、ウッドトリートメント処理による木材で、屋外の木材保護専用。土壌汚染法や水質汚濁法にも抵触しない。自然乾燥と植物からつくられている。雨や太陽にさらされることで、かえって美しい木肌を保つのが特長。海外では100年以上の実績がある。

多くの木材処理剤は、2〜3回塗りして数年後に再処理、さらに数年後にメンテナンスが必要となるが、同製品は雨や太陽にさらされることで処理剤が少しずつ木材に浸透するため、最初の1回だけの処理です。



記念碑を前に写真に納まる参加者ら
＝松山町の松山IC出口の緑地帯で

地域高規格道路「都城志布志道路」の末吉松山間が開通した記念事業として、県大隅土木事務所と末吉松山有明道路安全協議会(田中裕之会長)は23日、首於郡松山町の松山インターチェンジ出口の緑地帯で、地元小学校児童を招待し、工事関係者、自治体関係者ら約60人が参加してタイムカプセルの埋設式を行った。

埋設式では、初めに江美博大隅土木事務所長が、式の趣旨説明を述べた。式では、20歳になった「皆さんが20歳になったときに開封します。楽しみに待っていてください」と参加のお礼を含めて挨拶。その後、心の掛け橋と題した児童の作文や工事関係資料などを埋め、本人が、順次、タイムカプセルに収めた。カプセルは8年後の平成25年1月(参加した小学生が成人式の日)に開封される予定である。

鹿 児 島 建 設 新 聞

県内初となる鶏糞を活用したボイラー発電施設建設を計画している(南九州バイオマス(田中静雄社長、鹿児島市)が23日、薩摩郡さつま町の新築工事現場で起工式を行った。式典には、農林事務所や行政、工事関係者ら約30人が出席。玉掛け奉納などの神事で工事の安全を祈願した。



工事の安全を祈願する出席者
＝さつま町の新築工事現場で

県内初 鶏糞ボイラー発電施設起工式

環境に配慮した設計

山照取締役、鉄入の儀を(株)衛藤中山設計の中山克己社長、杭打ちの儀を三和建設(株)の前田正人社長と(株)白川工務店の白川田八社長がそれぞれ行った。

同社では、牛糞などの一般的な家畜堆肥と比べ、窒素や臭素などから需要が少ない鶏糞に着目。環境に配慮した処理方法や活用に向けた取り組みを進めてきた。今回、導入するシステムは鶏糞を燃焼させることによって大量に発生する蒸気をタービンで発電。隣接する鶏肉加工工場(株)アクリーズ(橋野強社長)に送電することにも、残りの電力を電力会社に買い取ってもらうもので、グループ企業全体で環境問題に取り組んでいる。

同施設の設計を手掛けた中山社長は「臭気や騒音、熱などを遮断するためにボイラー施設を建屋で囲むなど、環境面に配慮した設計となった。県内初ということで、今後各方面から注目されるだろう」と話した。



能力開発セミナーも行われた全体会議
＝鹿児島市のベイサイドガーデンで

県鉄構工業会第3回全体会議

鋼材事情踏まえ研修

県鉄構工業会(新屋敷幸男理事長)は23日、鹿児島市のベイサイドガーデンで第3回全体会議を開いた。キャリア教育など高度な人材育成に向けた能力開発セミナーのほか、建築構造用鋼材の利用技術、鋼材事情や今後の展望等についての研修が行われた。

セミナーでは、末原勉(末原社会保険労務士事務所)が「燃える鋼材はこう育てよう」と題して講演。「社員は企業内起業家であってほしい。受け身でなく、自分の意志でこの仕事をしたいという強い意識が必要」と述べた。指導にあたっては、キャリア教育におけるコーチングの重要性を力説し、「社員が持つ知識と行動の溝を埋めること、部下と上司の会話の促進を図ることなど、個人のアイディアをいかに発展させていくかがポイント」など話した。

研修では、先進の高性能建築構造用鋼材(SA440)の利用技術等について説明。全国での適用例をもとに、「重量低減やトータルコスト削減、設計の自由度化が可能」などとそのメリットを学んだほか、米国のワールドトレードセンター崩壊を構造面から追及した報告書も紹介された。

昨今の鋼材事情について、新屋敷理事長は「材料不足、価格高騰の要因は依然として中国への大量輸出にあり、世界生産の約4分の1を占めている状況」とし、「国内の厳しい現状はあと3年続くと予測されている」と話した。

緩和ケア・ネット特別講座

ガン告知に高い関心

会館で「告知について」をガンと伝えられたら? 真実に向かい合ってよりよく生きるか、その答えは患者と家族のみが決められる。三木氏が「ホスピス(緩和ケア病棟)」は、死にゆくことではなく、患者に残った時間をいかにして有意義に過ごすかを決める場所」と、常に患者の人間性を尊重してあげることが必要であることを説明。ほぼ満席の会場では、両氏の講演に対し来場者らが終始真剣な面持ちで聴講していた。

約1000人が訪れた講演は、病院チャプレン(医療チームの一員として患者や家族の相談)を務める長倉博氏と、鹿児島大学病院放射線科医師の三木徹生氏、座長にサザン・リジョーン病院理事長であり鹿児島緩和ケア事務局長も兼務する牧園寛郎氏らを講師に迎えて「告知について」と題して講演が行われた。終末期患者の医療において、豊富な経験を持つ長倉氏と三木氏は「真実に向かいあつてよりよく生きる」「ガンとともに生きていく」とともに生きるという二つのことを目指す。

第2回地域まちづくり会議 きょうから5地区で

鹿児島市

- ▽吉田地域まちづくり会議 ①24日10時②吉田福祉センター
 - ▽郡山地域まちづくり会議 ①同14時②郡山支所
 - ▽喜入地域まちづくり会議 ①25日9時30分②マリニピア喜入八幡温泉保養館
 - ▽松元地域まちづくり会議 ①同14時②松元支所
 - ▽桜島地域まちづくり会議 ①同14時②桜島支所
- 中心市街地活性化イベント「アタイムカフェ」
あすから3日間
鹿児島商工会議所
- 25日の天文館新アーケード竣工式に合わせ鹿児島商工会議所は27日までの3日間、鹿児島市のアイム前広場で中心市街地活性化イベント「アタイムカフェ」を開く。時間は午前11時から午後7時まで。
- 期間中は、オープンカフェや花市場を設置し、軽食等をはじめ、花苗や花鉢の販売を行うほか、鹿児島中央駅前までの無料サービス券なども配布する予定。

末吉松山間開通記念タイムカプセル埋設式

児童招き思い出づくり

大隅土木等